

芝川・新芝川とは？

芝川・新芝川は、荒川水系の左岸流域に位置しており、埼玉県桶川市周辺の大宮台地を水源とし、上尾市、さいたま市、川口市、鳩ヶ谷市、東京都足立区などの市街地を流下し芝川水門を経て荒川に合流する流域面積96.8km²、流路延長26.1kmの一級河川です。このうち東京都の管理区間は、新芝川1.60km、芝川0.33kmとなっています。

流域の中流部には見沼代用水東縁及び西縁に囲まれた見沼田圃など首都圏では大規模な自然が残る地域ですが、その上下流では、都市化が著しい状況となっています。また、下流部では、度重なる洪水被害に対する治水事業により、堅川との合流点付近で新芝川が放水路として開削され、芝川（旧芝川）は水門によって締め切られた閉鎖河川となっています。



新芝川：南平大橋付近

河川の特徴

芝川流域は、度重なる洪水による浸水被害により、昭和40年に芝川の放水路として、新芝川が完成しました。

新芝川は、南平大橋付近に芝川マリーナが整備されており、プレジャーボートの航行などに利用されている他、堤防上にサイクリングロードなどが整備され、荒川自転車道などにつながっています。また、荒川との合流点付近には「自然と遊ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる」をテーマとした都市農業公園などの利用施設があります。



芝川、新芝川合流点付近

河川整備の目標

芝川・新芝川では、洪水に対する安全性を向上させると共に、生態系に配慮した川づくりや、水辺に親しめる川づくりを進めていきます。

計画対象区間と期間

計画対象区間は、東京都管理区間の芝川・新芝川です。河川整備から維持管理に関することも含まれます。

計画期間は、概ね30年を目標としていますが、川をとりまく状況の変化や社会状況の変化に応じて見直しを行います。

河川の整備

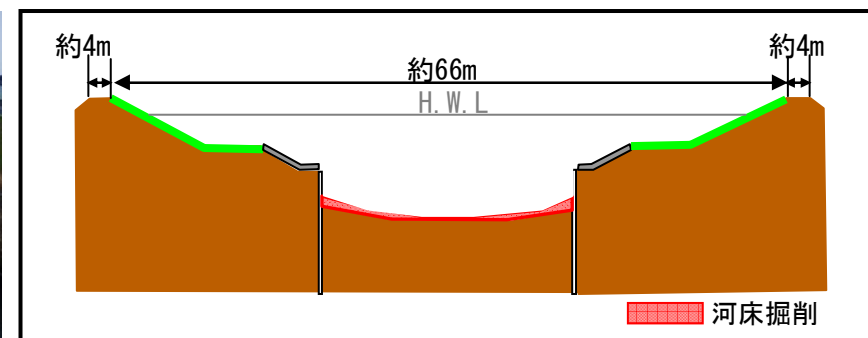
治水

洪水による水害の防止又は軽減

河床掘削を行い、発生する洪水を安全に流すことができる河川の整備を進めます。



河床掘削箇所



環境

河川環境の保全

安全な公共水域の確保につとめます。また河床掘削にあたっては生物や植生等に配慮した河川の整備を進めます。



係留船舶の適正な管理